

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
1	西部環状線南江戸三丁目交差点(新空港線と西環状線)の高架化について	現在、国と県、松山市が共同で国道33号、松山インターチェンジから国道56号、さらに松山空港に至る区間の松山外環状道路の整備に取り組んでいます。この松山外環状道路の整備により、市内中心部の通過交通の減少による渋滞の改善も見込まれることから、現時点では、ご要望の箇所の高架化については困難であると考えています。	都市整備部
2	市道花園町線道路空間再配分・活用調査検討業務について、アンケート調査の対象に住民が入っていない、自動車利用者へのアンケートがない、裏通りのマンションには説明にも来ない、情報開示の不平等がある	これまで地元説明会、ワークショップ、社会実験などにより住民の皆さんとの合意形成を図ってきました。地元説明会では、沿道や周辺の関係者の方を対象に花園町通りの整備について説明し、ワークショップでは、参加希望者を募り、地元関係者や大学生などの間で整備の課題等について話し合いを行いました。また、平成24年度に実施した社会実験では、道路の利用者や沿道の皆さんに整備イメージを共有してもらい、課題を抽出しました。整備に関しては、情報の公開に努め、沿道、周辺の関係者等の意見をお伺いする場を設け、合意形成を図りたいと考えています。	都市整備部
3	松山駅周辺土地区画整理事業について、将来のまちのビジョンを教えてください 平成32年には完成をぜひお願いしたい JR操車場、貨物基地跡地の利用計画が未だ出していない、どう使って町全体を活性化するか、にぎやかにしていくのか。	昨年度に設置した実際に建物を建築する地権者や関係機関などの連携・調整を図る「松山駅周辺笑顔あふれるまちづくり推進協議会」と、専門家と市民を交え、まちづくりへの市民参画の中核を担う「松山駅周辺まちづくり審議会」において、具体的な松山駅周辺地区のまちづくりに向けた議論を始めています。今年度は、アンケート調査やシンポジウムを通して市民のみなさんの意見を聴き、市がまちづくりの拠点として整備する車両基地跡地の基本構想を策定し、駅前広場についても、景観や土地利用など、地区全体のまちづくりの観点から検討を始め、来年度末を目標としている新たなまちの姿を示す「まちづくりガイドライン」の策定を目指しています。	都市整備部
4	伊予鉄道高浜線の踏切が地区内に11カ所あり、渋滞し、危険である。校区内の住民は日常生活に不便している。この問題に市は取り組んでいく気持ちがあるのか、状況をお聞かせいただきたい	鉄道との交差による渋滞については、立体交差化が、抜本的解決につながるものですが、多大な費用を要することに加え、鉄道事業者の負担、地元住民の理解など、様々な条件を解決する必要があります。地区の皆様には、ご不便をおかけしていますが、JR予讃線の鉄道高架事業や、「松山外環状道路」など、既に取り組みを始めている交通円滑化対策事業の効果等も検証し、今後も、検討していきたいと考えています。	都市整備部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
5	市道新玉27号線は通学路でもあるため、旧宮前川を利用して、できるだけ早く拡幅していただきたい	市道新玉27号線については、新古照橋から鬮目橋(くじゅめはし)下流までの区間およそ330mを、宮前川の河川跡を利用して道路を拡幅することとし、今年度から27年度までの3か年で工事を行う予定です。	都市整備部
6	中央浄化センター南側の空き地について、人口も減るといふことであまり必要ではないかとも思うが、これからどうするのかお聞きしたい	中央浄化センター南側用地は、下水道整備が進むにつれて増加する流入下水に対応するための施設建設予定地として位置付けており、今後の人口減少を考慮しても、将来的に下水道処理施設が必要になります。現在は、国の許可を受けて、観光客用の臨時駐車場として利用するなど有効活用を図っていますが、今後も、有効利用について検討していきたいと考えています。	下水道部
7	市道にも町名の表示をお願いしたい	道路の案内標識は、道路利用者に対して必要な目的地やその方向・距離を案内し、交通の安全と円滑を図るため、主要な道路に設置しています。ご意見いただいた一般市道は、道幅も幹線道路と比べて狭く、電柱、ポストなどの占用物件が多数あり、設置が困難な場合が多く、設置には警察や沿線住民との協議、同意も必要になります。市内には、住居表示や交差点名の表示などの表示もありますので、参考にさせていただきたいと思います。	都市整備部
8	国民健康保険のときは人間ドックが受けられたが、高齢者医療になってから受けられなくなった。健康であることが人に迷惑をかけないので、解決に向け努力いただきたい	健康診査事業について、愛媛県内の20市町合同で立ち上げた愛媛県後期高齢者医療制度に加入されている方を対象に、平成20年度から、毎年度1回、無料で健康診査を実施しており、身体計測(身長・体重)・血圧測定・医師の診察に加え、血液検査や尿検査等が受診できます。松山市内の健康診査指定医療機関や地域健診の会場及び保健所・保健センターで受診できます。また、各種がん検診については、地域健診の会場及び保健所・保健センターで後期高齢者医療被保険者証の提示により無料で実施していますので、健康管理のために、受診をお願いします。	保健福祉部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
9	民生委員が独居高齢者などを確認するのにプライバシーの問題があり難しい。連絡が取りやすい仕組みを考えていただきたい	民生児童委員が、独居高齢者等の実態把握を行っていただく際、必要となる情報については、松山市個人情報保護条例等の規定に基づいて提供しています。今後もできる限りの情報提供をしていきたいと考えています。	保健福祉部
10	千舟町八丁目(新玉公民館西)交差点の改良をお願いしたい	平成25年3月に現地で交差点改良案をお示しました。事業を実施するためには、土地所有者に土地の提供について同意していただく必要がありますので、今後、地域での合意形成を図っていただきたいと思ひます。	都市整備部
11	時差式信号機に矢印をつけてほしい	信号機の所管は警察となっており、ご意見をお伝えしていますが、道路の形状や交通量、隣接交差点との連動などを考慮して設定されており、交差点ごとに事情が違ふことから一概にその要否を判断しがたいとのことです。具体的な要望箇所について、所轄の警察署にご相談ください。	都市整備部
12	国道の雑草が目立つので対応してほしい	道路は、国道、県道、市道で管理者が異なりますが、具体的な場所をお知らせいただければ、道路管理者にお伝えしたり、市道であれば市で対応することが可能ですので、道路の種別がわからない場合でも、市の道路管理課へご連絡ください。	都市整備部
13	内水ハザードマップの作成について、新しいデータでシミュレーションしてほしいと思う。松山市では新玉地区が最初で、ほかにやっているとは聞いていない	内水ハザードマップは、ゲリラ豪雨を想定した新しいデータを基にシミュレーションを行い作成しています。新玉地区を含む市内中心部の内水ハザードマップは平成24年11月に公表しています。現在、南部地区および西部地区の内水ハザードマップを作成中で、将来的には、北部、北条地区と計5地区の内水ハザードマップを作成する予定です。	下水道部
14	南江戸公園のトイレの水は処理水なのか、上水なのか。洗車場をどうしてやめたのか。	南江戸公園のトイレの水は上水道を使用しています。洗車場については、高度処理施設の老朽化や、維持管理に多額の費用を要すること、また近隣住民から交通渋滞を引き起こすことに苦情があったため、施設を停止した経緯があり、洗車場の再開は困難と考えています。	下水道部 都市整備部